福井市麻生津小学校便り第２号
令和７年５月１４日（水）発行

# 麻生津ネット

令和7年度がスタートして、約1か月が過ぎようとしています。1年生48名を含めた全校312名のあそうづっ子が新しい学年になって張り切っています！毎日の生活にリズムができ、一人一人の学校生活にも「ゆとり」が生まれている感じがします。4月に、入学式や始業式で『「あいさつ」を大切にしてほしい。その中でも「ありがとう」は友達をつくる魔法の言葉』と全校児童に伝えました。がんばっている児童も多くいますが、まだまだ課題が多いことに気づきます。

5月の朝礼でも、そのことについて具体的にお話をしました。あいさつについて、特によかったところを伝えました。一人一人の子供の心に気づきがあることを願って。（以下一部省略）

*～いつもみなさんのために登下校の時に安全を見守ってくださっている見守り隊の方たちに、みなさんのあいさつのいいところをお聞きしました。紹介します。①1年生がとてもあいさつがうまいこと。②班長さんや一番後ろの副班長さんのあいさつがいいと、その真ん中にいるほかの学年のあいさつもいいこと③遠くからでも大きな声であいさつしてくれて元気がもらえること④道を横切るときに、車を止めて待っていてくださる運転手さんにまで頭を下げて通るのがすばらしいこと・・・・④は特にすごいですね。運転手さんもどんなにか嬉しい気持ちになったことでしょう～*

次の日から、あそうづっ子のあいさつはさらによくなりました。どの子も、自分で考えてあいさつをしていました。見守り隊の方をはじめ、地域の方、そして学校内ではお友達や先生、お家の方ではご家族と、「あいさつがいっぱいで笑顔の学校」をめざしていきたいと心から願います。

## 〈地域のみなさま、保護者のみなさま、いつも本当にありがとうございます！〉

安全マップをありがとうございます

いつも見守りをありがとうございます

授業参観日は特に張り切っていました

引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました

静かに掃除に取り組むことをめざしています

休み時間、外で遊ぶ子が多いです

# 令和７年度スクールプラン

今年度のスクールプランを掲載します。スクールプランとは、どのような子どもたちを育てたいのか、そして、そのためにどのような取組を行っていくのかを具体的に表したものです。４月号にも「めざす学校像」についてふれましたが、一人一人の子どもを真ん中において、「教職員」「保護者」「地域」のみなさまと一体となって、「子どもが主役の教育」をめざして学校をつくっていきたいと考えております。今年度のスクールプランには、「児童の実態」「教職員の願い」を掲載しました。「家庭・地域のみなさまの願い」とあわせてどうぞご覧ください。

## 令和7年度　福井市麻生津小学校 スクールプラン

【児童の実態】
- 明るく元気で人なつっこい
- 素直でのびのびしていて物おじしない
- 何事にも前向きにやってみようとする
- 体験的な活動には喜んで取り組む
- 相手の話を聞く姿勢が十分ではない
- 「できた」「わかった」と実感する児童が多くはない

【教職員の願い】
- 相手の話をしっかり聞くことができる子
- 自分で考え、行動できる子
- 「できた」「わかった」を実感できる子

【学校教育目標】　自ら学び、未来を拓く児童の育成

【めざす学校像】　自らの力を発揮し、生きる力をつなぐ学校

- ○児童にとって毎日行きたいと思う学校
- ○保護者にとって自分の子どもを毎日通わせたいと思う学校
- ○教職員にとって働きがいのある学校
- ○地域にとって誇りとなる学校

【めざす麻生津っ子】　認知能力と非認知能力が絡み情意（意欲と意志）を核に伸びることに着目

知・徳・体と資質・能力のつながり
- 知（学ぶ意欲、思考力・表現力）：進んで学び、考える力・表現する力を高めようとする子
- 徳（他者との協働）：自分の力を出し、認め合い、協力して行動しようとする子
- 体（心身の健康としなやかさ）：心と体を大切にし、粘り強くやってみようとする子

人・もの・ことと関わり、各教科等のあらゆる世界が面白く豊かなことに気づき、主体的対話的に深く学ぶ

【福井市学校教育目標】
- ○郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子ども

【学校教育方針】
- ○学びをつなぐ・未来につなげる

【足羽中学校区教育】
- ○園小中接続つながりの強化、意識調査に基づくPDCAサイクルの実践検証

【家庭・地域の願い】
- 自ら考え、行動しようとする子
- 思いやりをもって助け合う子
- 進んで明るい挨拶ができる子
- 地域とつながり、地域が好きと感じる子

【研究主題】「自ら学び 未来を拓く」　～子どものしこう「志向・試行・思考」を繰り上げる授業づくり～

| 【確かな学力の定着】<br>◎学ぶ楽しさを実感できる子を育てる | 【豊かな心の育成】<br>◎多様な価値観を受容・共感できる力を培う | 【健やかな心身の育成】<br>◎困難を乗り越えるしなやかさを育てる | 【家庭・地域との連携】<br>◎様々な人と協働できる力を培う |
|---|---|---|---|
| ○「授業が楽しくなる」実践研究推進<br>・課題設定や発問の工夫　・聞き合う場面設定の工夫<br>・ふり返りの充実　・教員同士の学び合い<br>・ICT活用（わくわくweb 学びポケット等家庭学習含む）<br>○思考を支える言語活動につなぐ読書推進<br>・園小読み聞かせ推奨　・読書カリキュラム共有<br>・フェニックス号連携　・貸し出し活性化　等<br>○児童意識調査（年３回）を活用した授業・活動のPDCA検証 | ○「将来の夢や目標」につながる児童の主体的な特別活動・児童会活動等の活性化<br>・福井市キャリア教育プログラム活用　・食育　・集会等<br>○多様性を包みメリハリある学級学年経営<br>・個と集団のバランス　・他者意識<br>・静と動　・はじまりと終わり・通級等の支援連携<br>○異学年交流、縦割り活動、ボランティア等のつながりを生かした自己肯定感の醸成 | ○居場所づくり、不登校対策・予防強化<br>・オアシスルーム設置　・心のお天気調べ等<br>・SC関係機関と校内チーム連携・タブレット活用<br>○本校作成「系統的・継続的な取組の重点」を生かした道徳等の充実<br>・自己発揮と自己調整　・言語化・ゲーム依存予防<br>○生活習慣・健康習慣育成・定着<br>・体力アップ作戦・学校保健委・就学前・就学時 | ○「郷土福井を大切にしたい」自覚化を生み出す生活科・総合等の授業デザイン<br>・地域の自然や文化、歴史、人々とのふれ合いを大切にした体験の充実　・発表発信で誇り醸成<br>○小中・地域との連携により、防災、自転車等安全、部活移行等、HPによる理解推進強化<br>○ねらいの明確化・構造化を通した行事精選と充実<br>・授業参観と引き渡し・地域行事参加・式典など |
| ○授業がよくわかる（児童90%）<br>○児童が自分の考えをしっかり話せるように授業づくりを工夫している（教職員90%） | ○学校が楽しい（児童90%）<br>○我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である（保護者90%）<br>児童会活動参観・家庭地域学校協議会運動年3回 | ○道徳の時間には、自分や友達等について考えを深めることができた（児童93%）<br>○温かな学級づくりをめざし思いやりの心を育てるための手立てをとる（教職員95%） | （働きがいのある学校）<br>・風通しのよい職員室<br>・助け合える同僚生の構築<br>・ワーク・ライフ・バランス<br>○郷土福井を大切にしたい（児童93%）<br>○学校は「学校だより」「ホームページ」「ブログ」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている（保護者93%） |

〈麻生津小学校ホームページ〉
毎週、麻生津ブログを更新しています。
どうぞご覧ください。
http://www.fukui-city.ed.jp/asozu-e/